

令和4年度予算主要事業の概要
(事業別説明資料)

商工観光部



目 次

事業承継に係る相談支援体制の強化	3
市内事業者の魅力向上と情報発信力の強化	4
商工業活性化包括支援事業	5
UI ターン・中途就職者を重点とした就職情報の発信	8
事業者による人材確保・育成対策の支援	9
外国人材の雇用・生活支援と多文化共生の推進	10
飛騨のモノづくりを通じた魅力発信と事業者の育成	11
市産品の海外輸出振興	12
特産品の販路開拓と物産イベントの開催	13
市公式観光サイトのリニューアル	14
飛騨古川まつり会館誘客大作戦	15
飛騨古川まつり会館を活用したワンコインシネマの開催	16
未来へつなぐ景観保全の仕組みづくり	17
豊かな自然資源の保全と活用	18
市民観光ガイド等の育成	19
飛騨市観光大使の活用推進 *	20

注：タイトル末尾に*印がある事業は所属ごとの概要資料のみに掲載しています（*印がない事業は全体版から再掲となります）

拡充 事業承継に係る相談支援体制の強化

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な用途】
各事業の内数	—	—
(前年度予算 0)		

2 事業背景・目的

事業者の高齢化や後継者の不在により、これまで地域経済の一端を担ってきた事業者が廃業を余儀なくされる事例が増加しており、令和3年度には「岐阜県事業承継・引継ぎ支援センター」が設立されるなど、全国的にも事業承継の機運が高まりつつあります。

近年の事業承継の事例からは、信頼できる譲渡先を探すマッチング過程の難しさが浮き彫りになっており、円滑な事業承継や緩やかなM&Aに向けた相談支援体制を整えるとともに、地域の実情に合った支援制度への拡充を図ることで、将来にわたって事業が継続可能な地域づくりを目指します。

3 事業概要

①【新規】事業承継サポートセンターの開設 ※ビジネスサポートセンター事業の内数

飛騨市ビジネスサポートセンター内に、新たに事業承継サポートセンターを開設し、事業承継の入り口として多種多様な相談に応じるほか、県の事業承継・引継ぎ支援センターとの連携を強化することで、承継に係る課題解決を支援します。

②【新規】事業の遺し方を考えるセミナーの開催 ※同上

円滑な事業承継には将来を見据えて平常時から準備を進める必要があることから、市内の現経営者を対象として、家族間・従業員・第三者といった様々な承継方法について考える機会となるセミナーを開催します。

③【拡充】小規模事業承継促進補助制度のメニュー拡充 ※商工業活性化包括支援事業の内数

承継時の建物改修費用や登記費用を支援する既存補助制度に、譲渡を希望する事業者が自社の事業承継を雑誌・インターネット等の媒体でPRする場合の広告宣伝費を支援するメニューを追加します。

○事業承継広告事業

補助率：2/3（上限20万円） 対象経費：広告作成・掲載費用、デザイナー謝金等

担当課：商工観光部商工課（☎0577-62-8901） 予算書：P.108

拡充 市内事業者の魅力向上と情報発信力の強化

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
2,600 (前年度予算 1,738)	一般財源	委託料 2,600

2 事業背景・目的

人口減少に伴う市内の労働力不足が深刻さを増す中、その解決には市内事業者が自らの特徴や魅力をしっかりと発信し、地域内外から人材の取り込みを図ることが必要です。

市では、市内事業者の魅力を高め、自ら価値を再発見・再認識し、その情報を整理して地域外へ発信していくための学びの機会の提供に継続的に取り組んでおり、コロナ禍では企業体質を内面から変えていくことで総合的な魅力を高めるDX化もテーマに取り入れ、事業者の学びと気づきの範囲を拡げてきました。

令和4年度は、これまでの取組に加え、新たに顧客に対する直接的な情報発信を学ぶことで、さらなる市内事業者の魅力向上と情報発信力の強化を図ります。

3 事業概要

①【新規】お店の魅せ方講座の開催 (190千円)

お店に入りたい、商品を買いたいと感じさせる魅力的な商品POPやメニュー看板の作り方について、その道のプロ「POPマイスター」に学ぶ講座を年3回開催します。

②【新規】Web徹底活用講座の開催 (680千円)

お店や商品をより多くのお客さんに知ってもらい、訪ねてもらい、買ってもらうためには、Webサービスの活用が欠かせないことから、お店を繁盛させるために押さえるべきWebへの掲載情報やお店の紹介動画の作成など、Web活用のポイントが身に付く講座を年4回開催します。

③【継続】事業者の魅力向上・情報発信強化セミナーの開催 (1,140千円)

DX化など最新のトレンドもテーマに取り入れながら、企業の人材確保力の強化に主眼を置いたセミナー・ワークショップを年4回開催します。

④【継続】親世代向けセミナーの開催 (590千円)

人生100年時代を迎えて未来の予測が困難といわれる中、市内の子どもを見守る親世代や地域の方を対象として、新卒・Uターンでの就職だけでなく、さまざまな形で飛騨市に関わることの意義や価値を伝えるセミナーを開催します。

担当課：商工観光部商工課 (☎0577-62-8901) 予算書：P.107

拡充 商工業活性化包括支援事業

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
30,000	一般財源	補助金
(前年度予算 30,000)	30,000	30,000

2 事業背景・目的

市内における商工業者は年々減少しており、その要因は売上げの減少、事業者の高齢化、後継者問題など多岐に渡ります。その一方で、更なる販路拡大を目指す既存事業者や、起業をされる方も増えてきています。

令和4年度も引き続き、積極的に外貨を取り込もうとする意欲のある事業者に対し、豊富な補助メニューの中から柔軟に選択できる包括的な支援制度を継続するとともに、実情に合わせた制度の拡充を図ることで、市内商工業の振興を目指します。

3 事業概要

①【新規】DX化促進補助制度

市内企業の人手不足の解消に向け、デジタルトランスフォーメーション(DX)化による作業の合理化、効率化、生産性向上を促進するため、各種アプリケーションの導入やコンサルタント料等のDX導入経費及び管理運用経費の一部を補助します。

○DX導入促進事業 補助率：1/2 (上限20万円)

対象経費：DX導入費用 (アプリ開発、コンサル料等)

○DX維持事業 補助率：1/2 (上限20万円/年・最大40万円・24ヶ月)

対象経費：DX維持費用 (リース料含むDX利用料等)

②【拡充】新商品開発補助制度

補助対象者を従来の商工事業者に加えて農林水産事業者にも拡充し、新たに製造し販売しようとする工芸品や農林水産加工品等の開発研究費の一部を補助します。

補助率：1/2 (上限30万円)

対象経費：商品開発費用 (アドバイス料、加工委託、分析、包装デザイン、広告料等)

③【拡充】小規模事業承継促進制度 ※詳細は「事業承継に係る相談支援体制の強化」に記載のとおり

④【継続】その他の各種支援制度

起業化促進、店舗拡大・立地促進、店舗改修、設備・機器導入、販路開拓、知的財産保護など、市内商工業の振興に向けた豊富な支援メニュー(次ページに掲載)を提供します。

商工業包括支援事業 補助制度一覧表

【新規】DX化促進補助
<p>制度概要：DX化に係る導入費用及び維持費用を支援します。</p> <p>補助率等：導入 1/2以内・20万円、維持 20万円/年（24ヶ月・上限40万円）</p>
【拡充】新商品開発補助
<p>制度概要：工芸品や農産加工品等の新商品開発及び販売に係る費用を支援します。</p> <p>補助率等：1/2以内・30万円（※）</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">※市が推進するプロジェクトに呼応するものは50万円以内</p>
【拡充】小規模事業継承促進補助
<p>制度概要：事業承継に係る事業所改装、登記、広告掲載費用等を支援します。</p> <p>補助率等：事業承継 2/3以内・100万円、広告掲載 2/3以内・20万円</p>
【継続】起業化奨励金
<p>制度概要：金融機関より創業支援資金融資を借り入れ、市を拠点として新たな事業を創出する方に対し、融資実行から3年後に奨励金を交付します。</p> <p>補助率等：借入元金の2/3以内・100万円（※）</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">※市民を雇用している場合は150万円</p>
【継続】知的財産取得促進補助
<p>制度概要：特許権・商標権等、地理的表示保護に係る取得・登録費用を支援します。</p> <p>補助率等：1/2以内・10万円</p>
【継続】展示会出展補助
<p>制度概要：市外で開催される展示会・商談会等（※）への出展費用を支援します。</p> <p>補助率等：1/2以内・30万円</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">※オンライン展示会等を含む</p>
【継続】電子決済端末導入促進補助
<p>制度概要：クレジットカード・電子マネー決済端末の導入費用を支援します。</p> <p>補助率等：10/10・5万円</p>
【継続】Wi-Fi整備補助
<p>制度概要：来客者が無料で利用できる無線ネット環境の構築費用を支援します。</p> <p>補助率等：1/2以内・30万円</p>
【継続】WEB環境整備補助
<p>制度概要：ホームページの開設、商品販売サイトの構築等に係る費用を支援します。</p> <p>補助率等：1/2以内・50万円</p>
【継続】店舗リニューアル補助
<p>制度概要：集客力向上等につながる店舗のリニューアル工事費用を支援します。</p> <p>補助率等：1/3以内・100万円（※）</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">※宿泊業は150万円</p>

【継続】 店舗バリアフリー補助
制度概要：店舗のバリアフリー化に係る工事費用を支援します。 補助率等：2/3以内・200万円
【継続】 空き店舗賃貸物件改修補助
制度概要：空き店舗等を賃貸物件として再利用するための改修費用を支援します。 補助率等：1/2以内・150万円
【継続】 商店街みだしなみ向上改修補助
制度概要：商店街等におけるアーケードや装飾設備等の改修費用を支援します。 補助率等：1/2以内・50万円
【継続】 外国人観光客受入促進補助
制度概要：看板・メニュー等の多言語化や規律等への対応に係る費用を支援します。 補助率等：1/2以内・10万円
【継続】 女性社会進出促進補助
制度概要：職場環境の改善や託児、産休・育休等への対応に係る費用を支援します。 補助率等：1/2以内・100万円
【継続】 高齢者・障がい者社会進出促進補助
制度概要：職場環境の改善や理解促進のための研修等に係る費用を支援します。 補助率等：1/2以内・100万円
【継続】 経営セーフティ共済加入促進補助
制度概要：中小企業倒産防止共済制度に係る掛金の一部を支援します。 補助率等：初月1ヶ月分・20万円

拡充 U I ターン・中途就職者を重点とした就職情報の発信

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
3,800	一般財源	3,800
		委託料 3,135
		印刷製本費 645
(前年度予算 2,088)		報償費 20

2 事業背景・目的

市内事業所の労働力不足が深刻化する中、就職や進学に伴う若者の市外流出が続く一方で、都市部から地方への新たな人の流れがトレンド化しつつあり、キャリア意識の変化から転職が一般化するなど、近年の雇用・就業を取り巻く状況は大きく様変わりし、市内で働く人材を確保するためには、これまで以上の多様性が求められる状況となっています。

このため令和4年度は、U I ターン者の獲得や子育て等により一時的に離職している方の掘り起こしに重点を置いた就職情報の発信に取り組むとともに、市内事業所の新卒採用志向からの意識転換を促すことで、多種多彩な人材が働きやすいまちを目指します。

3 事業概要

①【新規】Uターン者の獲得に向けたふるさと就職情報発信チラシの作成 (1,577千円)

お盆と年末の帰省シーズンを狙い、市内でU I ターン就職された方へのインタビュー記事や企業紹介等を掲載した就職情報チラシを新聞折込することで、ふるさとでの働き方やお金の使い方等を具体的にイメージしていただき、Uターン者の獲得へつなげます。

②【新規】中途就職者向け就職面談会の開催 (ゼロ予算)

ハローワーク主催の介護就職デイと合同で中途者向けの就職面談会を開催し、求職者と人事担当者が直接面談できる場を提供します。また、子育て世代の方も気軽に参加できるよう、子育てと仕事の両立に関する出張相談窓口や託児コーナーを開設します。

③【拡充】就職情報サイトのU I ターン者向け機能改修 (90千円)

就職情報サイト「企業ステーションHida」にU I ターン就職者向けのカテゴリを設け、U I ターン・転職者を募集している事業者を絞り込んで閲覧できるように改修するとともに、賃金等の追加情報も掲載することで、求職者の利便性向上を図ります。

④【継続】就職総合情報誌の発行とWebサイトの運営 (2,133千円)

就職総合情報誌アンキニナルを発行し、市内の全高校生、市内中学校、高山市内高校、大学卒業予定者等に配布するほか、Webサイト等により市内の就職情報を発信します。

担当課：商工観光部商工課 (☎0577-62-8901) 予算書：P.92

拡充 事業者による人材確保・育成対策の支援

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
1,700	一般財源	1,700 補助金
(前年度予算 1,200)		

2 事業背景・目的

市内の労働力不足が深刻化する中、必要な技術や資格を持つ従業員が不足し事業活動が制約される、企業として優れた技術を持っているにも関わらずそれを継承できる従業員がいないなど、単純な人員確保では埋め切れない課題も生じています。

このため、従業員の資格取得に対する新たな支援制度を設けるとともに、既存の人材確保支援制度の底上げを行うことで、市内事業者の持続可能な経営環境を支えます。

3 事業概要

①【新規】従業員のスキルアップ支援

従業員のスキルアップを目的として、市が指定する資格・講習等を事業者の費用負担により従業員に取得させる場合、取得に要した費用の一部を補助します。

○従業員資格取得支援事業

補助率：1/2（上限5万円/人） 対象経費：受講料、参考図書購入費等

②【拡充】多様な人材確保対策に取り組む事業者の支援

市内事業所の人材確保対策を強力に後押しするため、就職フェア出展や就職情報サイトの掲載費用に対する既存補助制度の上限額を30万円から50万円に上げるとともに、新たに人材紹介業者を利用する際の手数料をメニューに追加し、さらには特に人材不足が顕著な建設・製造・運輸交通業に限り補助率を1/2から2/3へと上げます。

○人材確保支援事業

補助率：1/2（上限50万円）※建設業は(2)、製造・運輸交通業は(2)(3)に限り補助率2/3

対象経費：(1)就職フェア出展、(2)就職情報サイト掲載、(3)人材紹介業者手数料



担当課：商工観光部商工課（☎0577-62-8901） 予算書：P. 93

拡充 外国人材の雇用・生活支援と多文化共生の推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】		【主な使途】	
3,900	一般財源	3,900	補助金	2,810
			謝礼	396
(前年度予算 3,800)			その他	694

2 事業背景・目的

市では、人口減少に伴う労働力不足の解消に向け、市内事業者による外国人技能実習制度の活用促進と実習生の生活支援に取り組んできましたが、文化的な違いや言葉の壁により、実習生と地域住民がそれぞれに生活への不安を感じる場面も生じています。

そこで令和4年度は、外国人材同士で気軽に集える場所を提供するとともに、実習生に対するマナー啓発や地域住民との交流会等を通じ、多文化共生を推進します。

3 事業概要

①【新規】外国人材コミュニティセンターの試験開設と多文化共生の推進 (161千円)

古川町杉崎の監理団体講習センター内に、実習生等が自由に集える「飛騨市外国人材コミュニティセンター」を試験的に開設するとともに、同センターを外国人材や事業者と地域住民をつなぐ交流拠点と位置付けて次の取組を展開します。

○外国人材のための暮らしのマナー講習会 (全2回)

公共施設の利用方法からゴミの分別方法まで、飛騨での暮らしに関する実演形式の講習会を開催し、実習生と地域住民が共生していくためのスキルアップを図ります。

○業務支援員による心の相談会 (全2回)

実習生等が抱える生活上の悩みや不安について、日本での生活経験が豊富な外国人技能実習生等業務支援員と自由に話ができる場を設け、心のケアを図ります。

○インターナショナルトークの開催 (全1回)

実習生が勤め先以外の日本人ともつながることでより一層地域に溶け込めるよう、実習生と地域住民の交流会を開催し、相互の文化に対する理解を深めます。

②【継続】外国人材の生活支援 (1,429千円)

就職奨励金の交付や日本語教室の開催、相談員の派遣等による生活支援を行います。

③【継続】外国人材を活用する事業所の支援 (2,310千円)

通訳派遣や空き家の社宅利用の促進など、外国人材を雇用する事業者を支援します

担当課：商工観光部商工課 (☎0577-68-8901) 予算書：P.92

拡充 飛驒のモノづくりを通じた魅力発信と事業者の育成

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
5,350	ふるさと納税	5,350 委託料
(前年度予算 3,850)		

2 事業背景・目的

市では、平成30年度から4年間にわたり、市内の伝統工芸品や加工食品、地酒などの優れた商品を生み出す市内のモノづくり事業者を対象に、経営力やマーケティング力の向上を促し、モノを通して国内外に市の魅力を発信できる事業者への育成を図るプロジェクトを進めており、専門家による経営面のアドバイスや商品づくりの支援を行うとともに、30～50歳代が中心の女性富裕層をメインターゲットとした実証販売の場として、東京ミッドタウン（六本木）での発信に取り組んできました。

令和4年度は、引き続きモノづくり事業者の育成支援を行うとともに、提携事業者が出店する都内のイベントスペースやホテル内のショップを積極的に活用し、プロジェクトから生み出された商品群を始めとして、農産物等の食材から加工品、料理、工芸品に至るまであらゆる市の魅力の複合的・総合的な発信に取り組めます。

3 事業概要

①【拡充】首都圏実証販売チャネルを活用した飛驒の魅力発信（1,500千円）

提携事業者が出店する3拠点を複合的に活用することで、令和3年度にも実施した薬草DAYや飛驒米フェアのように都心で飛驒の魅力を体験・体感できるショップイベント「excellent（エクセレント）飛驒」の常設メニュー化を進めるとともに、飛驒市ファンクラブイベントやサロン（社交場）の開催等も視野にさらなる有効活用を図ります。



②【継続】モノづくり事業者の育成支援（3,850千円）

市内事業者の新商品開発や既存商品のブラッシュアップに向け、専門家による定期的な訪問・アドバイスを行うとともに、市内事業者が消費者の反応を直接肌で感じることができるよう首都圏での実証販売を実施します。

担当課：商工観光部商工課（☎0577-62-8901） 予算書：P. 107

新規 市産品の海外輸出振興

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
272	ふるさと納税	272 旅費
		謝礼
		152
		120
(前年度予算	0)	

2 事業背景・目的

新型コロナウイルス感染症の影響により国内のインバウンド需要は低迷していますが、収束後は再び需要の回復が予想されます。また、我が国の人口減少に伴い内需が減少していく中では、外需の取込による売上高の確保・向上が今後必要不可欠となります。

そのため、アフターコロナのインバウンド需要を見越して飛騨市産品の知名度を上げ、インバウンドのみならず積極的な海外輸出により外貨獲得を図るとともに、海外でも評価されている商品という新たなブランド価値の獲得に向け、令和4年度から新たに食品を中心とした市内特産品の輸出振興に取り組みます。

3 事業概要

① 日本貿易振興機構(JETRO)による輸出入門セミナーの開催(ゼロ予算)

JETRO岐阜貿易情報センターの職員による「輸出事始めセミナー」を開催し、市内事業者が海外輸出におけるメリットやリスクを学ぶ機会を提供します。

また、初めての輸出でも対応しやすく国内決済も可能なJETRO主催「JAPAN MALL」への商品登録を支援し、世界60以上の連携先ECバイヤーとの商談機会を後押しします。

② 食品製造・生産者向け輸出実用セミナーの開催(272千円)

食品輸出の仲介事業を講師に招き、主としてヨーロッパ市場への輸出に関するセミナーを3回にわたり開催することで、市内事業者の海外販路拡大の端緒を開きます。



新規 特産品の販路開拓と物産イベントの開催

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
1,500	ふるさと納税 1,500	負担金 1,000 補助金 500
(前年度予算 0)		

2 事業背景・目的

コロナ禍により市内特産事業者等の外部における営業・販売活動が制約を受ける中、市では、事業者の売上支援と販路拡大、特産品PRを目的として、JR岐阜駅や富山市の大規模商業施設での物産展を立て続けに展開し、ここから富山市の大規模商業施設との連携協定の締結、さらには富山市との関係強化が進みました。また、同様に市から働きかけを行ったコープぎふとも良好な関係が築かれ、市内事業者の新規参入や実店舗での販売につながるなど、コロナ禍を契機として、市の立場だからこそ開拓できる市場の発掘に積極的に取り組んでいます。

引き続き、北陸・東海など隣接するエリアの開拓を進め、物産販売やPRイベントを開催することで、事業者の販路拡大と特産品PRを第一目標としながら、併せて飛騨市のPRや交流促進、ファンづくりにつなげます。

3 事業概要

① 北陸・中京圏等での物産イベントの開催 (1,000千円)

市内特産品事業者の販路拡大と特産品PRを目的として、富山市と連携した商業施設での観光物産イベント、コープぎふでの店頭販売、北陸エリアを中心としたショッピングモールでの観光物産展などを実施します。



② 商工団体等によるイベント開催の支援 (500千円)

市内の商工団体等が特産品の販売促進やPRを目的として市外で開催し、特産品事業者が参加する物産展の経費の一部を支援します。

補助率：1/2以内 (上限250千円/団体)

対象経費：広告宣伝費、資機材レンタル、消耗品、警備員配置、仮設工事費 など

担当課：商工観光部商工課 (☎0577-62-8901) 予算書：P. 108

新規 市公式観光サイトのリニューアル

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
9,200	ふるさと納税 9,200	委託料 9,200
(前年度予算 0)		

2 事業背景・目的

(公社)日本観光振興協会の「国民の観光に関する動向調査」によれば、旅行に必要な情報の入手経路として自治体のホームページを挙げる方の割合は全ての年代・性別で約半数を占めており、最も重要な観光情報発信ツールとなっています。

市の公式観光サイト「飛驒の旅」は、平成24年9月に開設し部分的な改修を重ねながら現在まで運用を続けてきましたが、スマートフォンの普及が急速に進む中、サイトの設計やデザインの古さが目立ち、表示速度も遅いなど、利用者のニーズに充分に応えられなくなってきており、サイトのページビュー数も年々低下しています。

このため、公式観光サイトの全面リニューアルにより旅行者の利便性向上を図るとともに、市内のさまざまなモノ・コト・ヒトの魅力を余すことなくお伝えし、旅先への興味や関心、旅行気運を最大限に高めて飛驒市への旅にお越しいただけるよう、情報発信力の更なる強化に努めます。

3 事業概要

サイトのデザインやページ構成を一新するとともに、既存のガイド紹介等の関連サイトを統合し、飛驒市観光の強みである各種体験プログラムの予約機能も実装した新たな公式観光サイトを構築します。

また、旅行者にとって常に使いやすいサイトであることを第一とし、旅行前や旅行中の段階でのアンケート調査や観光案内所での聞き取りにより、旅行者のサイトの使い方などを把握し、随時サイト機能の改善を図ります。

このため、令和4年12月を目途に一旦新サイトをプレ公開したうえで、ユーザーの意見を取り入れながら改善を行い、令和5年4月より本格稼働開始とする予定です。



担当課：商工観光部観光課 (☎0577-73-7463) 予算書：P. 109

拡充 飛驒古川まつり会館誘客大作戦

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
1,922	ふるさと納税	1,922
		使用料 1,000
		委託料 670
		印刷製本費 252
(前年度予算 4,450)		

2 事業背景・目的

令和2年6月にリニューアルオープンした飛驒古川まつり会館は、古川祭の特徴でもある動と静の魅力に加え、祭りとともに作り上げられてきたまちの文化を体感できる飛驒古川観光の中核施設です。会館を訪れた旅行会社や一般のお客様からは、わかりやすい展示とともに迫力のある映像が大変好評を得ていますが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、集客面においては未だ十分なリニューアル効果が得られていない状況です。

令和4年度は、アフターコロナにより社会経済活動が大きく再始動していくと見込まれることから、誘客大作戦と題して市民や市内飲食・宿泊事業者、関係人口の方々と一丸となって積極的なセールス活動を展開するとともに、会館の魅力をさらに高め、さまざまな楽しみ方を提供できるよう新たなイベント企画等の実施に取り組みます。

3 事業概要

①【新規】みんなで誘客セールスの実施（1,000千円）

市内飲食店や宿泊施設等に200円の入館割引券を配置し、市を挙げて飛驒古川まつり会館の営業マンとなることで、市を訪れたお客様に会館の魅力を伝え、実際に足を運んでいただけるよう誘客体制を強化します。また、高山市などの宿泊施設等へのセールス活動により近隣地域を訪れたお客様の取り込みを強化し、入館者数25,000人を目標に誘客を促進します。

②【新規】関係人口等の視点を活かした魅力度の向上（307千円）

関係案内所「ヒダスケ！」などを活用し、外部視点からのアイデアや企画を取り入れて実践していくとともに、物販コーナーのPOPの工夫や入館までのアプローチの見直しなど、さらなる会館の魅力度向上に取り組みます。

③【継続】宝探しイベントの実施（615千円）

夏休みに合わせて古川祭を学びながら楽しめる「宝探し」イベントを開催し、まつり会館を拠点に街なかを周遊していただき、滞在時間の延長と祭文化の発信を行います。

担当課：商工観光部観光課（☎0577-73-7463） 予算書：P.108

新規 飛騨古川まつり会館を活用したワンコインシネマの開催

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
3,578	講座受講料 150	委託料 2,078
	ふるさと納税 3,428	借上料 1,500
(前年度予算 0)		

2 事業背景・目的

飛騨古川まつり会館は、古川祭の特徴でもある動と静の魅力に加え、祭りとともに作り上げられてきたまちの文化を体感できる飛騨古川の誇りを象徴する施設ですが、古川の街なかに暮らす市民の中にも令和2年度のリニューアル後に会館を訪れたことがないという方も少なくはなく、地域内での魅力と価値の再認識が求められる状況となっています。

このため、会館内の4Kシアターを活用し、過去の祭り映像や映画作品を迫力ある大画面で楽しめる上映会イベントを定期的を開催することで、多くの市民が集う身近な場所として親しみを感じていただき、市民自らその魅力を他者に紹介したくなるような施設を目指します。

3 事業概要

既存の古い古川祭映像をシアターで活用できるよう高画質化するとともに、新たなシアター活用方法のプレイベントと位置付けて、市民カレッジと連携し、祭りの映像を題材とした講演会や市の取組みにまつわる映画作品等の上映会を年6回にわたり夜間に開催することで、市民が会館に足を運ぶきっかけを作り、映画館のない飛騨地域でもワンコインで映画を楽しめる娯楽の場所としての定着を図るとともに、館内の展示物やシアターの魅力を広く伝えていきます。



担当課：商工観光部観光課 (☎0577-73-7463) 予算書：P. 109

新規 未来へつなぐ景観保全の仕組みづくり

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
1,090	一般財源	1,090
		謝礼 480
		旅費 399
(前年度予算 0)		その他 211

2 事業背景・目的

古川町市街地の町並みは、明治37年の古川大火後に匠の技術により復興・形成され、「相場くずし」を嫌い伝統を重んじる住民の意識や、町屋大工が技を競い合うことで、今日の調和ある美しい景観が形成・保全されてきました。

平成初期には各分野の有識者で構成する古川まちづくり研究会によって、町並みの歴史や文化、人々の取組を紹介し、景観まちづくりの意識醸成を図ることを目的としたガイドブック「飛騨古川タウトレイル」が発刊され、この考え方により約30年が経過した現在でも地域の景観意識は高く保たれ、無電柱化等の周辺環境の整備も着実に進んでいます。その一方で、若年世代の景観意識の希薄化や匠の技術を継承する大工の後継者不足等の課題も浮上し、現在まで守り作り上げてきた誇りある町並み景観が崩れていくことが懸念されています。

将来にわたって美しい町並みを保全していくためには、若い世代へ景観意識を受け継いでいく仕組みづくりが重要になることから、古川市街地の若手住民を中心とした「古川町並み景観研究会（仮称）」を発足し、改めて自らが暮らす町並みの価値などについて調査研究を行い、その成果を子ども・市民向け講座や街歩き案内人の育成などのテキストとして活用することで、持続的な景観への意識づくりや未来を担う人材育成に取り組みます。

3 事業概要

令和3年度中に若手住民による「古川町並み景観研究会（仮称）」を発足し、令和4年度から、古川の町並み景観研究に長く携わられる西村幸夫先生（國學院大學教授）の指導助言の下で研究会活動を本格的に展開し、令和5年度には、研究成果をまとめた小冊子「令和版飛騨古川タウトレイル（仮称）」の発刊とその有効活用を目指します。

- ・西村先生によるオープン講座（一般参加可）
- ・景観づくり先進地の視察研修
- ・研究チームによる町並み調査（フィールドワーク）
- ・チーム単位の研究成果発表



担当課：商工観光部観光課（☎0577-73-7463） 予算書：P. 108

新規 豊かな自然資源の保全と活用

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
5,000	ふるさと納税	5,000
		委託料 4,544
		手数料 256
（前年度予算 0）		借上料 200

2 事業背景・目的

飛騨市は、北アルプスや飛騨高地の深い山々に包まれ、広葉樹を中心とした森林が多様な生態系を育み、清らかな水が循環する雄大で貴重な自然環境を誇っています。

これまで市を代表する資源として天生県立自然公園や池ヶ原湿原の保全活用に重点的に取り組んできましたが、市内には神岡町山之村の深洞湿原や天蓋山、中部山岳自然公園の一角に名を連ねる北ノ俣岳、宮川町の白木峰など、まだ十分にその魅力や価値を活かしきれていない自然資源が数多く存在することから、これらに改めて光を当て、市全体の自然資源の価値を再発見し、未来へと守り伝えていくための新たな視点による自然環境政策を始動します。

これと並行して、市内の自然環境保全に携わる方々の高齢化や後継者不足が喫緊の課題であることから、市内の自然資源の保全活用を継続的にマネジメントしていける専門人材の確保と育成に取り組みます。

3 事業概要

① 市内資源の現状把握と保全活用方針の検討（600千円）

地域で活躍する自然ガイドやボランティア、外部の登山道補修の専門家らと合同で北ノ俣岳、深洞湿原、天蓋山、白木峰等の現状調査を実施し、課題の洗い出しを行います。また、深洞湿原・天蓋山、白木峰では市民向けモニターツアーを開催し、市民目線の資源評価をいただきながら、令和5年度以降の本格的な事業展開に向けた自然資源の保全活用方針を検討します。



▲深洞湿原・原生林

② 専門人材の確保と育成（4,400千円）

自然環境に強い思いを持った人物を地域内外から募集・登用し、関係団体等との連携を密にしながら、今後の自然資源の保全活用の中核を担うスペシャリスト人材として計画的な育成に取り組みます。

担当課：商工観光部観光課（☎0577-73-7463） 予算書：P. 109

拡充 市民観光ガイド等の育成

1 事業費（単位：千円）	【財源内訳】	【主な使途】
1,000	ふるさと納税	1,000
		旅費 394
		謝礼 356
(前年度予算 1,376)		その他 250

2 事業背景・目的

観光資源を守り伝える街歩きガイドや自然ガイドの高齢化が進む中、次世代のガイド人材の確保・育成が喫緊の課題であることに加え、各ガイドが所属する団体等の事務局機能が弱く、商品販売やプロモーションが十分に実施できない状況となっています。

令和4年度は、引き続き新たなガイド人材の発掘と育成に取り組むとともに、ガイド個人のスキルや組織力の強化にも力を入れ、持続可能な運営体制の構築を目指します。

3 事業概要

①【新規】ガイドのスキルアップ機会の創出（306千円）

飛騨高山の古い街並みや乗鞍山麓五色ヶ原の森など、他地域のフィールドガイドとの交流会を年4回程度開催し、お客様目線で自身のガイドングスキルを評価・改善していただくことで、ガイド個人のサービス能力の向上を図ります。

②【継続】次世代ガイドの発掘と育成（179千円）

まちや自然に詳しい方への声掛けや公民館講座等の開催を入口としてガイドに興味のある人材を誘い込み、実際のガイドツアーに同行しながら知識や技術を学び、個性あふれる新たなガイドとしてデビューするまでのトータルサポートを行います。

③【継続】観光連携体制の強化（515千円）

観光協会職員や関連事業者を対象に組織運営やガイドマネジメントを学ぶ研修会を開催し、関係者間の連携を深めながら、市の観光・まちづくりをけん引していける人材・組織の育成を図ります。



担当課：商工観光部観光課（☎0577-73-7463） 予算書：P. 108

継続 飛騨市観光大使の活用推進

1 事業費 (単位：千円)	【財源内訳】	【主な使途】
1,200	一般財源	1,200
		報償費 555
		使用料 438
(前年度予算 632)		その他 207

2 事業背景・目的

市では、これまでの観光大使制度を令和3年度に見直し、飛騨市の認知度向上に資する著名人を観光プロモーション大使に、飛騨市の応援団である市民を含む大使をふるさと応援大使として位置づけることでそれぞれの役割を明確化し、さらなる市の魅力発信や認知度向上に取り組んでいます。

また、令和3年度には新たにアイドルグループMAG!C☆PRINCE（マジックプリンス）の永田薫氏を観光プロモーション大使に任命し、飛騨市日帰りバスツアーの開催やYoutube・SNSでの情報発信を行うことで、これまで飛騨市を知らなかった多くの方から認知を得ることができ、市への来訪やSNS等で市の応援をいただくなど、飛騨市ファンの獲得にもつながっています。

今後も引き続き、観光プロモーション大使等を活用した事業展開により、認知度向上と誘客促進に取り組むとともに、さらなる飛騨市ファンの獲得を図ります。

3 事業概要

観光プロモーション大使に年間を通じて市の特産品や観光情報を随時発信いただくことで市の認知度向上を図るとともに、市内イベントへの招へいやファンミーティングの開催等により誘客促進を図ります。

また、新たに市内商品や食材とのコラボ企画や商品開発を行い、新規ユーザー獲得と市製品の販売促進に取り組みます。

さらには、次なる観光プロモーション大使の候補となる著名人を探りながら、新たなプロモーション展開を模索します。



▲永田薫プロモーション大使